

スキル・能力（保育補助）		確認
※「そう思う」「できる」場合は確認欄にチェックを入れてください。		
1.コミュニケーション能力について		
1-1	誰にでも、誰とでも、朗らかに挨拶ができる。	
1-2	個人の判断で決めずに、担任の先生等に相談して保育上の問題を解決できる。	
1-3	指示を受けて保育するだけでなく、自分から現状を正確に報告し、次の保育に必要な指示を引き出すことができる。	
1-4	人の話を傾聴することができる。また、自分の意見を伝達することができる。	
1-5	事故発生時等において、正確に状況を報告し、迅速に行動することができる。	
2.協調性について		
2-1	チームワークを尊重し、他の保育士と連携して保育を行うことができる。	
2-2	他者の話（主に指導・助言・苦言）を、自分を高めるためのアドバイスとして、素直に受け入れることができる。	
2-3	子どもの安心・安全を第一に考え、子どもに優しく接するだけでなく、子どもの目線で保育することができる。	
3.柔軟性について		
3-1	思考や行動に柔軟性があると言われる。	
3-2	相手の出方に合わせた対応ができる（できていると言われる）。	
3-3	子どもを尊重し、一人ひとり丁寧に保育できる。	
4.身体能力について		
4-1	現在、足腰に疾病や異常、痛み等がない。または、子ども（おおよそ 20 kgまでの子ども。個人差があるので、20 kg以上の子どもを含む場合がある）を抱いたりおぶったりでき、その状態で移動することや立ち座りすることに支障がない。	
4-2	子どもを保育している間、正座して座ることができる。正座からすぐに立ち上がり、問題なく動くことができる。	
4-3	脚立等に上ることができる。	
4-4	重いものを持つことができる。その状態で移動することに支障がない。	
4-5	視力低下を起こす疾病に罹患していない。視野・見え方に異常がない（場合によっては、視力検査等の結果を提示していただくことがあります）。	
4-6	聴力低下を起こす疾病に罹患していない（場合によっては、聴力検査等の結果を提示していただくことがあります）。	
5.保育の仕事について		
5-1	子どもたちを保育するだけでなく、保育に関する雑務や清掃（排泄失敗の後片付け等）を含んでいることを承知している。	
5-2	保育の仕事は、子どもの体力強化のため、季節を問わず室内外での運動や活動があることを承知しており、その活動等ができる体力がある。	
5-3	保育園は、保護者と共に子どもを育てる役割があることを理解している。	

上記の内容について事実と相違ありません。

平成 年 月 日

氏名（自著） _____